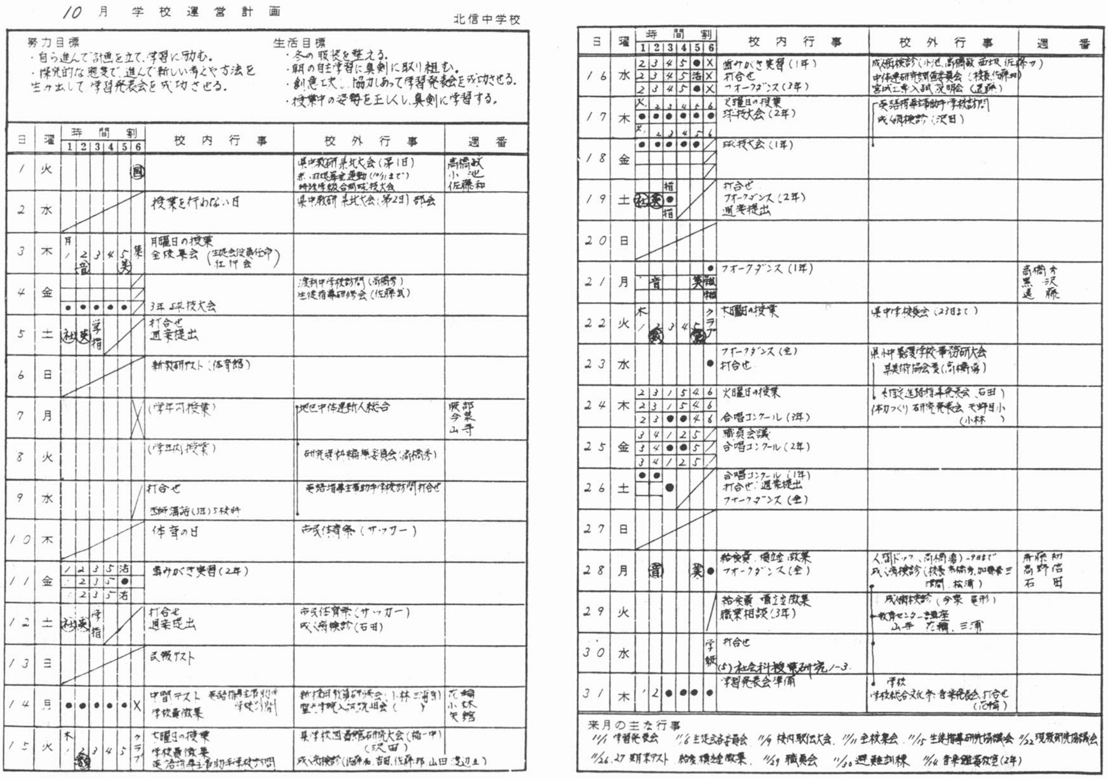


10月　学校運営計画

北信中学校

努力目標
・自ら進んで計画を立て、学習に励む。
・探究的な態度で、進んで新しい考えや方法を生み出して、学習発表会を成功させる。

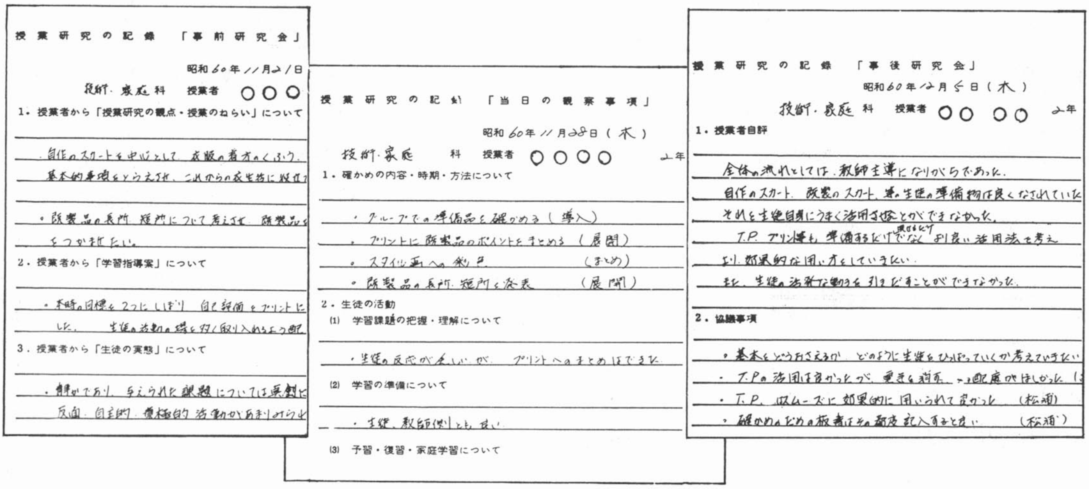
生活目標
・冬の服装を整える。
・朝の自主学習に真剣に取り組む。
・創意工夫し、協力しあって学習発表会を成功させる。
・授業中の姿勢を正しくし、真剣に学習する。

日	曜	時間割						校内行事	校外行事	週番
		1	2	3	4	5	6			
1	火						国		県中教研県北大会（第1日） 県・田根募金運動（10/31まで） 特殊学級合同球技大会	高橋敏 小池 佐藤和
2	水							授業を行わない日	県中教研県北大会（第2日）部会	
3	木	月 1	2 音	3	4	5 美	集	月曜日の授業 全校集会（生徒会役員任命 壮行会）		
4	金	●	●	●	●	●		3年 球技大会	渡利中学校訪問（高橋秀） 生徒指導研修会（佐藤武）	
5	土	社	美	学指				打合せ 週案提出		
6	日							新教研テスト（体育館）		
7	月						×	（学年内授業）	地区中体連新人総合	服部 今泉 山寺
8	火							（学年内授業）	研究資料編集委員会（高橋秀）	
9	水							打合せ 西部講話（3年）5校時	英語指導主事助手学校訪問打合せ	
10	木							体育の日	市民体育祭（サッカー）	
11	金	1	2 2 2	3 3 3	5 5 5	活 ● 活		歯みがき実習（2年）		
12	土	社	美	学指				打合せ 週案提出	市民体育祭（サッカー） 成人病検診（石田）	
13	日							民報テスト		
14	月	●	●	●	●	●	×	中間テスト　英語指導主事助手学校訪問 学校費徴集	新採用教員研修会（小林　三浦引） 聖光学院入試説明会（　）	花輪 小林 矢島
15	火	木 1	2	3	4	5	クラブ	木曜日の授業 学校費徴集 英語指導主事助手学校訪問	県学校図書館研究大会（福一中）（沢田） 成人病検診（渡辺和、吉田、佐藤邦、山田、渡辺主）	
16	水	2 2 2	3 3 3	4 4 4	5 5 5	● 活 ●	× × ×	歯みがき実習（1年） 打合せ フォークダンス（3年）	成人病検診（小池、高橋敏、西坂、佐藤ツ） 中体連研究調査委員会（校長、佐藤和） 宮城工業入試説明会（遠藤）	
17	木	火 ● 火	2 ● 2	3 ● 3	4 ● 4	5 ● 5	6 ● 6	火曜日の授業 球技大会（2年）	英語指導主事助手学校訪問 成人病検診（沢田）	
18	金	●	●	●	●	●		球技大会（1年）		
19	土	社	美	指 ● 指				打合せ フォークダンス（2年） 週案提出		
20	日									
21	月		音			美	● 職 指	フォークダンス（1年）		高橋秀 黒沢 遠藤
22	火	木 1	2	3	4	5	クラブ	木曜日の授業	県中学校長会（23日まで）	
23	水						●	フォークダンス（全） 打合せ	県小中養護学校事務研大会 県美術協会長（高橋秀）	
24	木	2 2 2	3 3 3	1 1 ●	5 5 ●	4 4 4	6 6 6	火曜日の授業 合唱コンクール（3年）	県進路指導発表会（石田） 体力づくり研究発表会　平野目小（小林　）	
25	金	3 3 3	4 4 4	1 ● 1	2 ● 2	5 5 5		職員会議 合唱コンクール（2年）		
26	土	●	●	●				合唱コンクール（1年） 打合せ、週案提出 フォークダンス（全）		
27	日									
28	月		音			美	●	給食費、積立金徴集 フォークダンス（全）	人間ドック（高橋秀）～9日まで 成人病検診（校長、高橋秀、加藤、三浦、松浦）	斉藤和 高野信 石田
29	火							給食費　積立金徴集 職業相談（3年）	成人病検診（今泉　吾形） 教育センター講座　山寺　花輪、三浦	
30	水						学級	打合せ (5) 社会科授業研究 1-3		
31	木	1	2	●	●	●	●	学習発表会準備	学校 学校総合文化祭　音楽発表会　打合せ（花輪）	

来月の主な行事
11/1 学習発表会　11/6 生徒会各委員会　11/9 校内駅伝大会　11/11 全校集会　11/15 生徒指導研究協議会　11/22 現教研究協議会
11/26.27 期末テスト　給食 積立金徴集　11/29 職員会　11/30 避難訓練　11/14 音楽鑑賞教室（2年）

いして教科部会を開いていただき，授業研究の計画をさらに具体的に，月日・曜日・時間・学級までも明らかにした計画を提出していただくことができたことと，教頭の強力なバックアップがあってはじめて実現できたのである。

(3)　授業研究記録の工夫



授業研究の記録　「事前研究会」

昭和60年11月21日

技術・家庭科　授業者　○○○

1．授業者から「授業研究の観点・授業のねらい」について

・自作のスカートを中心として，衣服の着方のくふう，基本的事項をとらえさせ，これからの衣生活に役立

・既製品の長所・短所について考えさせ，既製品を

をつかませたい。

2．授業者から「学習指導案」について

・本時の目標を2つにしぼり，自己評価をプリントにした。　生徒の活動の場を多く取り入れるよう配

3．授業者から「生徒の実態」について

・静かであり，与えられた課題については真剣に

反面，自主的，積極的な活動があまりみられ

授業研究の記録　「当日の観察事項」

昭和60年11月28日（木）

技術・家庭　科　授業者　○○○○　2年

1．確かめの内容・時期・方法について

・グループでの準備品を確かめる（導入）

・プリントに既製品のポイントをまとめる（展開）

・スタイル画への彩色　（まとめ）

・既製品の長所・短所を発表　（展開）

2．生徒の活動

(1)　学習課題の把握・理解について

・生徒の反応が乏しいが，プリントへのまとめはできた。

(2)　学習の準備について

・生徒，教師側とも良い

(3)　予習・復習・家庭学習について

授業研究の記録　「事後研究会」

昭和60年12月5日（木）

技術・家庭　科　授業者　○○　○○　2年

1．授業者自評

全体の流れとしては，教師主導になりがちであった。

自作のスカート，既製のスカート，等の生徒の準備物は良くなされていた

それを生徒自身にうまく活用させることができなかった。

T.P.プリント等も準備するだけでなく（製作するだけ）より良い活用法を考え

より効果的な用い方をしていきたい。

また，生徒の活発な動きを引きだすことができなかった。

2．協議事項

・基本をどうおさえるか，どのように生徒をひっぱっていくか考えていきたい

・T.Pの活用は良かったが，更なる指示への配慮がほしかった（

・T.P.はスムーズに効果的に用いられて良かった　（松浦）

・確かめのための板書はその都度記入すると良い　（松浦）